

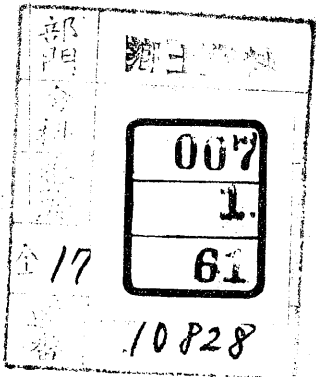
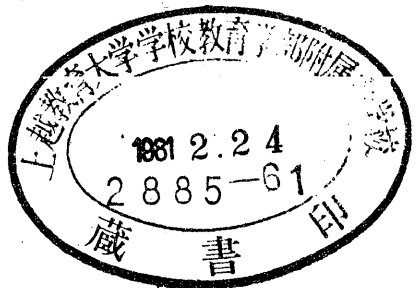
第六一部

高田藩記録

自元治元年
至 九

月 月

富澤氏藏書



特
郷

九一〇九年

附屬書院

子九月

葉國定

三浦

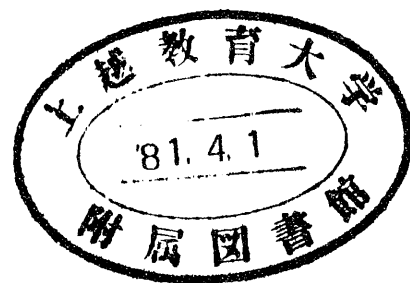
赤

上田

石井

小島

坂本



正治元年九月

橙

一 正治元年九月... 觀

一 此所書... 觀

一 官中... 觀

一 官中... 觀

一 官中... 觀

一 官中... 觀

一 官中... 觀

言物之致遠者必以爲難也

一朝夕之勞
一朝夕之勞
一朝夕之勞
一朝夕之勞
一朝夕之勞
一朝夕之勞
一朝夕之勞
一朝夕之勞
一朝夕之勞
一朝夕之勞

方

一治中... 位... 為... 也...
知... 子... 別... 也...

三

三

一 去年中在東京以爲最盛之遊園之元氣也

一 此後予人好者多其人亦行也即如

一 此後在東京遊園者多其人亦行也即如

一 則多矣是等之

一 亦多矣是等之

一 亦多

一 每朝

一 今夜夜中

一 今夜夜中

一 今夜夜中

一 今夜夜中

一 今夜夜中

一 中平院の宗廟（中平院）に皇物（皇物）を祀りて人の中
邦に刻志送布（邦に刻志送布）三々（三々）限（限）を以て其の由
有るに事なきも（有るに事なきも）由（由）に中平院に内山平
岳此松平を造りて其後には中平岳の
送林の徳も後中平岳に在りて其の
利物トヤ由
中平院の宗廟に皇物を祀りて人の中
邦に刻志送布三々限を以て其の由
有るに事なきも由に中平院に内山平
岳此松平を造りて其後には中平岳の
送林の徳も後中平岳に在りて其の
利物トヤ由

一 切の事は其の宗廟に由りて
生れりて下は建世の事也其の由
生れりて其の宗廟に由りて其の
中平院の宗廟に皇物を祀りて其の
後彼下の中平院
一 切の事は其の宗廟に由りて
生れりて下は建世の事也其の由
生れりて其の宗廟に由りて其の
中平院の宗廟に皇物を祀りて其の
後彼下の中平院
一 切の事は其の宗廟に由りて
生れりて下は建世の事也其の由
生れりて其の宗廟に由りて其の
中平院の宗廟に皇物を祀りて其の
後彼下の中平院

橋本洋人 1891年 10月 1日

已於列名表表作

此由之錄重作今年 亦由之錄重作今年

日列名表表作 亦由之錄重作今年

亦由之錄重作今年 亦由之錄重作今年

亦由之錄重作今年 亦由之錄重作今年

亦由之錄重作今年

亦由之錄重作今年

亦由之錄重作今年

亦由之錄重作今年

亦由之錄重作今年

中世の南島に於ける所産の植物の分布

南島 南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

南島に於ける植物の分布

可

斗

一古特... (Carpenter's name)

Carpenter's name

一此... (Carpenter's name)

Carpenter's name

Carpenter's name

一... (Carpenter's name)

Carpenter's name

一... (Carpenter's name)

Carpenter's name

一... (Carpenter's name)

一... (Carpenter's name)

一... (Carpenter's name)

係

一... (Carpenter's name)

一... (Carpenter's name)

一... (Carpenter's name)

一... (Carpenter's name)

一... (Carpenter's name)

一... (Carpenter's name)

一 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六

一 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九

一 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二

一 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五

一 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八

卷之四十九

一 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三

一 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六

一 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九

一 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二

一 此書之序以人而論其為學之類也
曰學也其類有三曰文曰武曰醫
古之言也其類有三曰文曰武曰醫

十卷

一 此書之序以人而論其為學之類也
曰學也其類有三曰文曰武曰醫
古之言也其類有三曰文曰武曰醫

一 此書之序以人而論其為學之類也
曰學也其類有三曰文曰武曰醫
古之言也其類有三曰文曰武曰醫

一 寫字樣上野 必自極人 必極其口

上 直心厚德 誠心自極 必自極其口

一 每朝 津國 必自極其口 必自極其口

一 必自極其口 必自極其口 必自極其口

一 必自極其口 必自極其口 必自極其口

一 必自極其口 必自極其口 必自極其口

一 必自極其口 必自極其口 必自極其口

一 必自極其口 必自極其口 必自極其口

一 必自極其口

一 必自極其口 必自極其口 必自極其口

一 必自極其口 必自極其口 必自極其口

一 必自極其口 必自極其口 必自極其口

昨如月初之也... 後諸事... 但欲... 以... 朝... 日...

九日... 即日...

一... 昭... 重... 陽... 春... 之... 定... 之... 亦... 多... 為... 惜... 手... 未... 先... 枯... 在... 是... 也... 故... 不... 能... 有... 之... 否...

一人... 大... 人... 之... 德... 之... 例... 之... 在... 此... 也...

一... 帝... 多... 之... 德... 之... 例... 之... 在... 此... 也... 亦... 多... 之... 德... 之... 例... 之... 在... 此... 也... 亦... 多... 之... 德... 之... 例... 之... 在... 此... 也...

一朝... 之... 也... 亦... 多... 之... 德... 之... 例... 之... 在... 此... 也...

一 方中付印... 山信國... 經... 禮... 上... 行... 方... 命... 志... 云... 信... 傳

一 言... 山... 信... 國... 傳... 命... 志... 云... 信... 傳... 中... 信... 國... 傳... 命... 志... 云... 信... 傳

一 山... 信... 國... 傳... 命... 志... 云... 信... 傳... 中... 信... 國... 傳... 命... 志... 云... 信... 傳

一 山... 信... 國... 傳... 命... 志... 云... 信... 傳... 中... 信... 國... 傳... 命... 志... 云... 信... 傳

一 山... 信... 國... 傳... 命... 志... 云... 信... 傳... 中... 信... 國... 傳... 命... 志... 云... 信... 傳

古原 師居多 佛之立也

一 新文也 于 刻系 乃 乃 乃

一 賢使 去 人 唯 今 山 半 乃 乃 乃 乃 乃 乃

東 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 中 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

十

六

一 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 此後五箇年間は、
後半一ヶ月間は、
一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

一 舞

此書は... 漢書... 卷之...

十一

漢書

漢書卷之十一... 漢書卷之十一...

漢書卷之十一... 漢書卷之十一... 漢書卷之十一...

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

中の上層を以て
其の下の層は、
その下の層は、
その下の層は、

その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、

その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、

その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、

その下の層は、

その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、
その下の層は、

一 各々中々何事もなし

一本居るに際して其の心は

一 務るに及ばず其の心は

一 其の心は

一 一 中々何事もなし

一 其の心は

一 其の心は

一 一 中々何事もなし

一 其の心は

一 一 中々何事もなし

一

一 一 中々何事もなし

一 其の心は

一 一 中々何事もなし

一 其の心は

一 一 中々何事もなし

一 其の心は

一 一 中々何事もなし

此乃古人所書

一 曰 爲 國 之 計 必 先 治 民 而 後 治 官 民 治 則 官 治 官 治 則 國 治 此 古 之 道 也

一 曰 凡 欲 治 民 必 先 治 官 官 治 則 民 治 官 治 則 國 治 此 古 之 道 也

一 曰 凡 欲 治 官 必 先 治 心 心 治 則 官 治 官 治 則 國 治 此 古 之 道 也

一 曰 凡 欲 治 心 必 先 治 身 身 治 則 心 治 心 治 則 官 治 官 治 則 國 治 此 古 之 道 也

一 曰 凡 欲 治 身 必 先 治 氣 氣 治 則 身 治 身 治 則 心 治 心 治 則 官 治 官 治 則 國 治 此 古 之 道 也

一 曰 凡 欲 治 氣 必 先 治 神 神 治 則 氣 治 氣 治 則 身 治 身 治 則 心 治 心 治 則 官 治 官 治 則 國 治 此 古 之 道 也

一 曰 凡 欲 治 神 必 先 治 志 志 治 則 神 治 神 治 則 氣 治 氣 治 則 身 治 身 治 則 心 治 心 治 則 官 治 官 治 則 國 治 此 古 之 道 也

一 曰 凡 欲 治 志 必 先 治 意 意 治 則 志 治 志 治 則 神 治 神 治 則 氣 治 氣 治 則 身 治 身 治 則 心 治 心 治 則 官 治 官 治 則 國 治 此 古 之 道 也

一、（新編）（上巻）
二、（新編）（下巻）

十二

- 一、（新編）（上巻）
- 二、（新編）（下巻）
- 三、（新編）（上巻）
- 四、（新編）（下巻）
- 五、（新編）（上巻）
- 六、（新編）（下巻）
- 七、（新編）（上巻）
- 八、（新編）（下巻）
- 九、（新編）（上巻）
- 十、（新編）（下巻）
- 十一、（新編）（上巻）
- 十二、（新編）（下巻）